



# 風しんに注意しましょう! ワクチン接種で感染予防

平成 30 年 10 月 10 日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

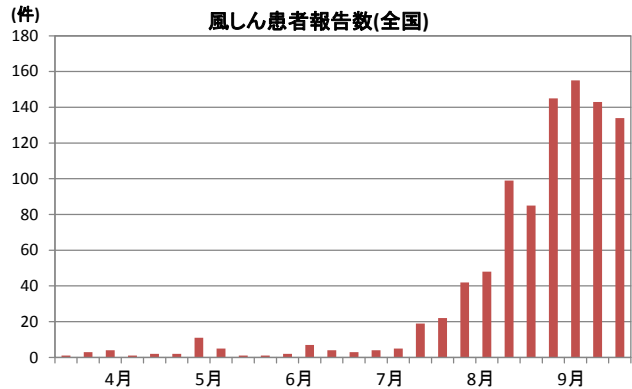
(平成 30 年第 40 週分・10 月 1 日～10 月 7 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●風しん(ふうしん)

現在、関東地方を中心に風しん患者の報告数が急増しています(図参照)。全国では、第 39 週(9/24～9/30)までに 952 件の風しん患者の報告があり、今年の報告数(93 件)を大きく超えています。今年の県内の報告数は、現在のところ 5 件です。

風しんは、風しんウイルスを原因とする感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫(唾液のしぶき)などによって他の人に感染します。潜伏期は 2～3 週間で、主な症状として発熱、発疹、リンパ節の腫れが認められます。妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなどの症状(先天性風しん症候群)が生じることがあります。



**風しんおよび先天性風しん症候群は、予防接種で予防することができます。**今年度、予防接種法に基づく麻疹風しん(MR)ワクチンの接種対象者は、忘れずに予防接種を受けましょう。妊娠を希望される方や妊娠する可能性の高い方は、あらかじめ予防接種で風しんに対する免疫を付けておくことが重要となります。また、**妊娠中は風しんの予防接種が受けられないため、周囲の人が予防接種で免疫を付けて、妊婦を風しんの感染から守ることも大切です。**妊婦の家族で風しんにかかったことがない方、風しんの予防接種を受けていない方、どちらも不明な方は、是非とも予防接種・抗体検査をご検討ください。詳しくは県健康課のホームページ([http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1205/kj00012878.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00012878.html))をご確認ください。

### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1件(20歳代、女性)
- 四類感染症 A型肝炎 1件(40歳代、男性)
- レジオネラ症 1件(50歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(第39週診断分:70歳代、男性)
- 風しん 2件(①50歳代、男性 ②60歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	3.83	3.21	↑
2位	R S ウイルス感染症	3.41	2.38	↑
3位	ヘルパンギーナ	1.66	2.21	↓
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.14	↓
5位	手足口病	0.79	0.48	↑
6位	咽頭結膜熱	0.21	0.34	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第40週 平成30年10月1日～平成30年10月7日）

分類	疾患	今週報告分（第40週）					計	累積報告数					計
		新川	中部	高岡	砺波	富山市		新川	中部	高岡	砺波	富山市	
二類感染症	結核		1				1	9	13	45	16	73	156
三類感染症	細菌性赤痢										1		1
	腸管出血性大腸菌感染症							3	3	4	3	11	24
	バラチフス											1	1
四類感染症	E型肝炎							1		1	1		3
	A型肝炎					1	1					4	4
	つつが虫病											1	1
	デング熱										3		3
	レジオネラ症	1					1	2	1	7	3	21	34
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4		8	12
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							2		1	1	1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	5	2	5	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		2		1	5
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	7	4	14	29
	水痘（入院例）							1		2		3	6
	梅毒									1		10	11
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											7	12
	風しん			1		1	2			1	1	3	5
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					4	4	2,232	1,824	3,485	2,449	5,356
						0.25	0.08						
RSウイルス感染症		3	2	34	16	44	99	52	31	207	79	527	896
		0.75	0.67	4.25	4.00	4.40	3.41						
咽頭結膜熱		4	1	1			6	216	72	249	26	292	855
		1.00	0.33	0.13			0.21						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	5	12		10	29	153	111	529	214	743	1,750
		0.50	1.67	1.50		1.00	1.00						
感染性胃腸炎		21	18	20	3	49	111	1,094	748	1,193	222	2,659	5,916
		5.25	6.00	2.50	0.75	4.90	3.83						
水痘		1			1	1	3	20	6	93	53	100	272
		0.25			0.25	0.10	0.10						
手足口病		3		6	13	1	23	8	12	93	76	122	311
		0.75		0.75	3.25	0.10	0.79						
伝染性紅斑				1		1	2	6	1	91	44	37	179
				0.13		0.10	0.07						
突発性発しん				3		2	5	52	41	184	47	141	465
				0.38		0.20	0.17						
ヘルパンギーナ		9	10	18	2	9	48	89	93	296	84	265	827
		2.25	3.33	2.25	0.50	0.90	1.66						
流行性耳下腺炎		1	1	2			4	5	10	20	3	35	73
		0.25	0.33	0.25			0.14						
急性出血性結膜炎											14	1	15
流行性角結膜炎							2	18	10	4	5	39	
細菌性髄膜炎											5	5	
無菌性髄膜炎											2	2	
マイコプラズマ肺炎				1		1	5	4	6	6	8	29	
				1.00		0.20							
クラミジア肺炎										1	3	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）													0

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。